

2027年度より

子ども・発達支援領域を強化！

保育士養成プログラムがスタート！

リハビリ専門職を目指しながら、
保育士資格取得にも挑戦できる！



本学は資格の取得だけではなく、専門性の拡がりを重視しています。保育士養成プログラムを通じて、子どもと家族を支える力を身につけ、多様な現場で活躍できるリハビリ専門職を育成します。

なぜ保育・発達支援を学ぶの？



医療・リハビリテーションの専門性を基盤に、子どもの発達・成長・コミュニケーションを支える力を育てることで、保育・教育・福祉の分野へ活躍できる領域を拡大できます。

子どもの発達理解が深まる

保育や発達支援について学ぶことで、子どもの身体・心・ことばの発達をより深く理解できるようになります。

子どもと家族を支援する力が身につく

子どもだけではなく、その成長を支える家族や地域との関わりについて学ぶことで、より実践的な支援力を身につけることができます。

活躍の場が広がる

医療と保育・福祉をつなぐ人材として、病院や施設だけでなく、保育・教育・福祉の分野など多様な現場で活躍できる可能性が広がります。



保育士の資格をとるには？



保育士資格は通常、指定保育士養成施設(大学・短大・専門学校)で学んで取得します。しかし、大学に2年以上在学して62単位を修得済みであれば、年2回実施される「保育士試験」に合格することで取得することが可能です。本学においても、3年生の前期以降で保育士試験の受験が可能になります。

保育士試験はどんな試験？



筆記試験

「保育原理」「社会福祉」「子どもの保健」「保育実習理論」など8つの科目あり、全科目に合格すると実技試験に進めます。合格科目は3年間有効で、科目を分けて順にチャレンジすることも可能です。



実技試験

保育実習実技に関する試験で、音楽、造形、言語の3分野から2分野を選択して受験します。

こんな方におすすめです！

- 将来は子どもを専門に支援したい。
- リハビリ専門職として活躍の領域を広げたい。
- 子どもの発達や発達支援について学びたい。
- 保育士資格の取得にも挑戦したい。

資格をとるためにどんなサポートがあるの？



「保育学入門」を開講

資格対策として、保育原理と保育実習理論を学ぶ「保育学入門」を2年生後期に開講します。



既存科目で学修可能

本学で設置する学修範囲が近い科目を履修することで、筆記試験に必要な分野を学修できます。



担当教員がサポート

本来の目的であるリハビリの学修に支障がないよう、担当教員が試験対策をサポートします。



実習・実技にも対応

音楽・造形・言語などの実技指導や保育園の見学実習にもしっかり対応します。



学校法人 藍野大学

びわこリハビリテーション
専門職大学

理学療法学科・作業療法学科・言語聴覚療法学科

<https://bpur.aino.ac.jp/>

